期末試験の情報

2024 年度春夏学期 大阪大学 全学共通教育科目 解析学入門 経 (161~)

期末試験の情報は次のとおりです.

- 1. 日時: 2024年7月25日木曜3限(13:30-15:00)13:15までにこの教室に来てください.
- 2. 場所: 共B218
- 3. 持ち込みに関して: $\underline{A4}$ 用紙 $\underline{4}$ 枚 (裏表使用可) のみ持ち込み可. 工夫を凝らして $\underline{A4}$ 用紙 $\underline{4}$ 枚 に今までの内容をまとめてください. ($\underline{A4}$ 用紙はこの用紙のサイズです.) $\underline{A4}$ より大きいサイズの紙を用いた場合, その用紙を没収します. その他 (教科書, スマートフォン, 携帯) は使用できません.
- 4. 試験内容: 授業でやった範囲

以下は注意事項です.

- 解答に関して、答えのみならず、答えを導出する過程をきちんと記してください。 きちんと記していない場合は大幅に減点する場合がある.
- 期末試験には「普通の問題」と「おまけの問題」があります. 普通の問題はしっかり勉強すれば解ける問題です. おまけの問題は解けることを想定していない問題です. 面白いので出しました.
- 途中退出は 14:00-14:45 までとします. 試験が早く解けたものや諦めたものはこの時間に試験を提出し、その後退出してください.
- 何をやればいいかわからない人は、最低限として演習問題を解けるようにしてください. (ただしそれだけで単位が来るとは限らないです.) また単位を認定するくらいの成績が取れていない場合、容赦無く不可を出します.
- 試験対策として作った A4 用紙 4 枚は試験後も捨てずに置いておくことをお勧めします. なぜならこの用紙 4 枚にこの授業で学ぶべき内容が詰まっているからです.

演習問題及び授業の資料・板書内容は授業ページ (https://masataka123.github.io/2024_summer_calculus/) にもあります。下の QR コードからを読み込んでも構いません。



演習問題 2024年7月18日(木)

下の問題を解け、なお解答は配布した解答用紙に解答すること、

ただし解答に関しては答えのみならず、答えを導出する過程をきちんと記すこと.また解答用紙は $1 \wedge 1$ 枚以上提出すること.

問題 1. 次の定積分の値を求めよ.

- 1. $\int_0^{\pi/2} (\cos x)^2 dx$ (ヒント: 2 倍角の公式 $\cos 2x = 2(\cos x)^2 1$ を使う)
- 2. $\int_0^{\pi} (\sin x)^2 \cos x \, dx$ (ヒント: t^3 の微分.)
- 3. $\int_{1}^{2} (\log x)^{2} dx$ (ヒント: 部分積分法)
- 4. $\int_{-1}^{1} \frac{1}{1+x^2} dx$ (ヒント: 置換積分法 $x = \tan t$)

問題2. 次の問い答えよ.

- 1. 関数 $f(x,y)=rac{x}{y}+\log x$ の各偏導関数 $rac{\partial f}{\partial x},rac{\partial f}{\partial y}$ を求めよ.
- 2. 関数 $f(x,y)=e^{xy}\sin x$ の各偏導関数 $\frac{\partial f}{\partial x}, \frac{\partial f}{\partial y}$ を求めよ.

問題 3. \mathbb{R}^2 上の C^∞ 級関数を

$$f(x,y) = x^2 + xy + 2y^2 - 4y$$

とする. f(x,y) について極大点・極小点を持つ点があれば、その座標と極値を求めよ. またその極値が極大値か極小値のどちらであるか示せ.

問題 4.

$$f(x,y) = x^2 + xy + y^2$$
, $g(x,y) = x^2 + y^2 - 1$

とする. g(x,y)=0 のもとでの f(x,y) の最大値と最大値をとる点の座標, 最小値と最小値をとる点の座標を全て求めよ.

つまり $S=\{(x,y)\in\mathbb{R}^2:g(x,y)=0\}$ とするとき, f の S 上での最大値と最大値をとる点の座標, 及び最小値と最小値をとる点の座標を全て求めよ. ただし S 上で f(x,y) が最大値・最小値をとることは認めて良い.

解答用紙

学籍番号:	名前	
-------	----	--